

「さっぽろ建設産業活性化プラン 2025（案）」に対する
ご意見の概要と札幌市の考え方について

令和7年（2025年）3月

札幌市

1. 実施概要

(1) 意見募集期間

令和7年(2025年)1月10日(金)から令和7年(2025年)2月14日(金)まで

(2) 意見の提出方法

郵送、持参、ファクス、電子メール

(3) 資料の配布・閲覧場所

- ・建設局土木部業務課課(市役所本局庁舎8階)
- ・市政刊行物コーナー(市役所本庁舎2階)
- ・各区役所総務企画課広聴係
- ・各区土木センター(各区土木部維持管理課)
- ・札幌市ホームページ

(4) 意見募集の周知方法

- ・札幌市ホームページの掲載
- ・プレスリリース
- ・さっぽろ建設産業活性化推進協議会を通じた業界への周知

2. 内訳

(1) 意見提出者数及び意見数

意見提出者数：4人

意見数：13件

(2) 提出方法

すべて電子メール

3. 意見の概要とそれに対する札幌市の考え方

いただいたご意見については、趣旨を損なわないよう要約しております。

No.	ご意見	札幌市の考え方
1	<p>技術継承・担い手確保・品質確保を伸展させるため、持続すべき企業の安定経営の観点から意見する。</p> <p>①入札・契約制度における資格別予定価格基準の見直し 現行の一般競争における等級（格付けによる参加資格別予定価格基準）は、長期間見直しされず、物価変動が考慮されていない状況である。その結果、等級別の受注量に著しい偏りが生じている。令和6年度の公園設計業務の場合では、A等級では競争性が低い状態であるのに対し、B等級では低額・激しい競争状態にあるなど、等級による弊害が大きい状態であったため、等級別予定価格（現1,000万）のアップ及び参加基準の緩和により、等級（格付け）による弊害・不公平を取り除いてほしい。</p> <p>②得意業務への入札参加障害の排除 弊社は、以前は他の得意業務に入札参加し受注がありましたが、今では予定価格基準（等級）によって入札参加できない状況にある。過去の入札制度改変で技術の持続可能な確保が困難なものになっていることから、「技術継承」「担い手確保」「品質確保」を伸展させる方策として、得意業務・経験実績を有する業務の入札参加緩和を積極的に推進してほしい。</p>	<p>①及び②のご意見について、入札結果などを踏まえ、適切な入札環境の確保に努めます。</p>
2	<p>深く賛同しております。少しずつでも進んで下さるようお願いいたします。</p> <p>私どもも出来る範囲で進めて参ります。</p>	<p>プラン推進に向け、業界と一緒に取組を進めます。</p>
3	<p>(3) 道路の除排雪【4p】について</p> <p>今冬の気候を注視しているが、年々札幌が（地球が）おかしくなってきたように感じる。今冬も春の訪れを感じる日があつたにも関わらず、あつという間に大雪で市内混乱。これでは現場で除排雪に従事されている皆様が本当に大変だ！！なぜなら、暇な日々が続いた後に一気に多忙となってしまうから。私は元旦にランニングした際、飲み屋帰りのお兄さんと除排雪に従事されている皆様としか会っていない。通りすがり『元旦から本当にお疲れ様です』と心で呟いた。気候変動による気温差</p>	<p>除雪事業者の安定的な体制確保に向け、除雪の出動回数や排雪量が当初予定数量を下回った場合でも、人件費や機械経費など固定的にかかる経費について補償する制度を設けております。</p> <p>冬の暮らしを支える除雪事業について、将来にわたり安定的にその体制を維持していくため</p>

	<p>によって、一番迷惑を被っているのは除排雪に従事されている皆様だ！札幌市が、どのような賃金体系で建設業者と契約を交わしているのか知らないが、冬場に現場労働に従事されている皆様の生活が100%補償されるような補償体系を構築していかなければ除排雪は立ち行かなくなるだろう。※補償体系については、主として将来の問題を指す。先送りするべからず。</p>	<p>に、除雪従事者の確保や労働環境の向上は重要と考えており、今後も除雪事業者との意見交換を密に行い、各種取組を進めます。</p>
4	<p>2ページの下から3行目「進めているところですが、各分野において建設産業が活躍しています。」について、「ところですが、」は否定語なので建設産業が活躍することが悪いように感じられるため、「・・・進めており、各分野において建設産業が活躍しています。」にすべき。</p>	<p>ご意見のとおり文章や文言を修正します。</p>
<p>3ページの上から4行目「10年後(2029年)には約3割、20年後(2039年)・・・」について、10年後は2035年、20年後は2045年なので、「10年後」「20年後」は削除して「()」も削除したほうが良いと思う。</p>	<p>ご意見のとおり文章や文言を修正します。</p>	
<p>10ページの8.6「2020年までに、就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。」について、現在2025年なので、「8.6:・・・」は記載しないほうが良いと思う。</p>	<p>SDGsにおける目標年次が更新されていませんが、今後も取り組む必要がある内容であるため、記載したものです。</p>	
<p>43ページの「勉強が嫌いな人が働く仕事」について、良くないイメージだと思うので網掛けのほうが良いと思う。</p>	<p>「勉強がキライな人が働く仕事」に対する判断が分かれると考え、網掛けにしています。</p>	
<p>50ページの「2. 工業系学生数の減少」について、工業高校の人数は生徒数なので、「2. 工業系生徒数の減少」にするか、データを市内の専門学校・大学の工業系学生数にしたほうが良いと思う。</p>	<p>「2. 工業系生徒数の減少」に修正します。</p>	
<p>60ページの「◆学生数の状況」について、高校生なので「生徒数の状況」にしたほうが良いと思います。また、比較対照が石狩管内の道立高校の生徒数と市内工業高校の生徒数を比較していますが、市内の高校の生徒数と市内工業高校の生徒数を比較すべきと思う。(札幌市立高校・私立高校の生徒数を含めない理由がわかりません。)</p>	<p>タイトルの表現は、「生徒数の状況」に修正します。道立高校及び市内工業高校の生徒数は、それぞれ生徒数の減少を示したものであり、比較することを目的として記載したものではありません。</p>	
<p>68ページの「札幌圏内の労働災害の発生件数 目標数値 2029 前年以下」について、前年以下だと2028と比べて発生件数が減少していれば良いので、現状と比較するのであれば、具体的な数値(例:230件)を記載したほ</p>	<p>継続的に労働災害を減らすため、目標数値の表現に、プラン期間をとおして取り組む表現を追記します。</p>	

<p>うが良いと思う。</p>	
<p>72 ページの「施策3-1：工事における週休2日の取組強化」について、週休2日+祭日も休めるような取組を強化すべきと考えますので、祭日についても記載したほうが良いと思う。</p>	<p>国及び北海道と同様に4週8休（週休2日）に取り組を進めていることから、原案のままとします。</p>
<p>121 ページの「調査対象：北海学園大学（〇年生）、北海道科学大学（〇年生）」について、「〇年生」について具体的な数字を記載するか「〇年生」を削除したほうが良いと思う。</p>	<p>ご意見のとおり文章や文言を修正します。</p>
<p>※上記のほか軽微な文言修正は、ご意見を踏まえて修正します。</p>	

発行：令和7年（2025年）3月

担当課：建設局土木部業務課

札幌市中央区北2条西1丁目 市役所本庁8階

電話 011-211-2612

市政資料番号：02-K02-24-2852